

学校法人東京聖栄大学 令和4年度事業計画

学園を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症がもたらす影響、18歳人口・幼少人口減少の影響、私立大学等経常費補助金の交付率改善は期待できない状況にあること等々、プラス要素に乏しく、学園運営は厳しさが続くものと予想される。

このような状況下ではあるが、本学園設置学校の教育（保育）に対する信頼を着実に高めていけるよう、令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を継続したうえで教育（保育）活動を全教職員が一丸となって進める。

<令和4年度 全体重点事項>

- 1 新型コロナウイルス感染防止に留意し、対策を継続したうえで、適切に教育（保育）活動、諸行事を実施する。大学は全科目対面授業を基本とする。
- 2 『学校法人東京聖栄大学 第Ⅲ期中期計画（2020-2024）』を着実に推進する。
- 3 志願者を増やす取組を一層推進する。
- 4 ステークホルダーからの評価を重視する。
- 5 前回認証評価受審における課題解決に向けた取組を推進する。
- 6 『自己点検評価報告書（令和3年度版）』の取り纏めと令和4年度内の外部公表
- 7 災害対策・リスク回避・安全対策強化を推進する。

<各部門 個別事項>

1 東京聖栄大学

- ・感染防止対策のもと、全科目を本来の授業形態である「対面授業」で行う。
なお感染症の流行状況により一部科目をオンラインとする等、適切に対応する。
- ・教育の質の向上に向けた取組については継続的に推進する。
（FD活動、自己点検活動とPDCA、学修成果の把握、丁寧な学生指導等）
- ・共通教育センター（Lサポ）の機能向上に取り組む。
- ・感染症のリスク回避・低減を前提とし、学生諸活動の再開を図る。
（部・同好会、体育祭、大学祭、学生の地域貢献・社会貢献活動等）
- ・ステークホルダー（学生・保護者等）からの評価の重視
（卒業時学生満足度調査、学修行動調査、学生との意見交換会、保護者との連携等）
- ・就職活動支援、各種資格取得支援（学生の主体的努力を踏まえた指導・支援）
- ・管理栄養士国家試験指導（高い合格率の維持）
- ・学生生活の安定を図るため、学生支援対策・相談対応を適切に実施する。
- ・卒業生と連携した学生教育充実策を検討実施する。
- ・志願者を増やす努力、定員確保努力の継続推進。
- ・学長リーダーシップに基づく大学運営と補佐体制実施（大学運営会議等）

2 附属学校

1) 調理師専門学校

- ・感染症に対応した適切な学校運営・管理
感染防止対策の徹底・継続、学校生活・健康管理面等の指導、適切な施設管理・安全対策の継続
- ・生徒募集努力
体験入学・オンライン学校説明会等の一層の充実、既卒者・社会人および外国人等の幅広い入学生を対象とした夜間個別相談会の開催による募集努力の継続、SNS（インスタグラムやライン）による学校情報の配信
- ・学校運営、教育活動の向上への取組
学校評価（自己評価、学校関係者評価）の組織的な取組、全教員対象の授業評価アンケートの実施および授業改善の推進継続
- ・魅力ある学校づくり
調理師に必要な調理技術と基本的ルール（生活マナーと衛生）を備えた即戦力の人材育成と本校で学んだことへの満足度向上等、教育内容の向上を図り、魅力ある学校づくりに取り組む。
東京聖栄大学との連携推進（大学教員による質の高い授業、調理技術研修生受入）卒業生実態調査（就業状況、本校への意識調査等）を踏まえた適切な就職指導、外国人留学生の国内就職への支援（外国人人材採用企業の開拓、外食業特定技能測定試験の受験指導等）、第一線で活躍する卒業生による特別調理講習会の実施、学習意欲の高い社会人学生への外部講習会の紹介および講習会の開催検討、高等教育支援新制度に基づく学生生活支援の適切な実施

2) わたなべ幼稚園

- ・満3歳児保育、預かり保育の充実
混合学級：令和3年度から実施した年少3クラス全体の混合学級を継続する。
幼児教室：令和4年度は、週2回クラスに加え、週1回クラスを計画する。
預かり保育：教員の確保・協力体制を図りつつ利用者ニーズの増加に対応する。
- ・食育の充実
定評を得ている自園式給食の継続努力、園児の食育（栽培・収穫野菜の給食への取入れ）、東京聖栄大学と連携した食育（園児・保護者）・臨地実習学生受入れ等
- ・教職員の意識改革、働き方改革
研修・自己研鑽、若手教員への助言、保育の見直し・改善、計画的な業務遂行等

- ・安全管理の徹底

感染防止対策の継続、生活習慣としての手洗い・うがい、食事のマナー徹底、

遊具消毒、換気、加湿

遊具等の遊び方指導、避難訓練、不審者対応、施設の適切な維持管理、園バスの安全運行 等

3 管理運営

- ・理事会による学園全体の適正運営（評議員会・常務理事会含む）

- ・監査の適切な実施（法人監事、公認会計士、内部監査室）、および指摘事項への誠実・迅速な対応

- ・健全な財務の追求

- ・幼稚園改築のための将来所要経費積立ての継続（2号基本金及び減価償却費）

- ・学内LAN環境の計画的整備

（OS終了に伴うノートPC更改45台、スイッチハブ更改59台、ルータ4台等）

- ・法令改正事項への順守対応

（改正学校法人寄附行為作成例準拠、改正労働施策総合推進法に準拠した取組等）

- ・私学法改正等ガバナンス改革の動向に留意し、法令改正があった場合は適切な対応を検討する。

以 上